

■ドイツ：連邦系統規制庁、2024年の電力供給シナリオを承認

連邦系統規制庁は2013年8月30日、送電系統運用者（TSO）4社が作成した2024年に向けた系統開発計画のための電力供給シナリオを承認したことを公表した。TSOは毎年、電力供給の安定化と投資費用の効率化のために、TSO間で相互に調整の上、10年後と20年後の電力供給の予測シナリオを作成することが義務付けられている。連邦系統規制庁の承認を受けた同シナリオは、TSOが作成する系統計画の土台となり、作成された系統開発計画は翌年の3月3日に連邦系統規制庁へ提出することがエネルギー事業法で定められている。今回発表されたシナリオでは、2024年時点の陸上風力の設備容量を前年の2023年向けシナリオの4,930万kWから5,500万kWまで増加させる一方、太陽光は6,130万kWから減少して5,600万kW、洋上風力も1,410万kWから1,270万kWに抑えられた想定となっている。